

# プロネクサスベトナム現地レポート

(2020年10月 VOL.8)

プロネクサスベトナムが、ベトナム現地情報をお伝えいたします。  
今回のテーマは、【ベトナムにおけるジャパンブランド】についてです。今回は、「ワイン事情」についてご紹介します。

## 【外国産のワインの価格について】

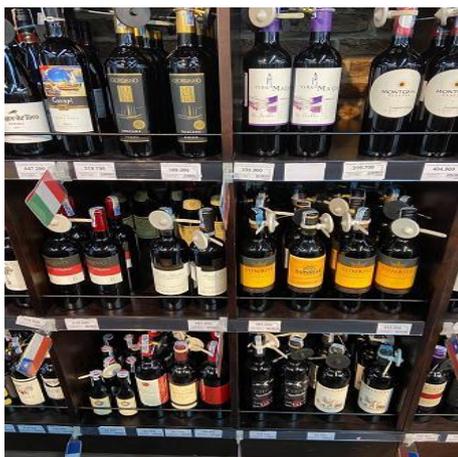
ホーチミン市内にある異なる2店舗のスーパーにて実地調査を行い、外国産ワインの価格動向について調査を行ったところ、以下のように考えられます。

- ① ウイスキー・日本酒等のほかの酒類と比べ、安価に購入が可能であること
- ② 価格が安いチリ産のワインなどが多く取り扱われていること
- ③ 現状、\*日本産のワインを取り扱っているスーパーは少ないと思われること

\*本コラムでは、「日本ワイン」と「(日本) 国産ワイン」を区別していない。

今回調査を行った、日本食の取り扱いもある大衆向けのスーパー【Big C】では、安価な外国産のワインが多く陳列されており、100,000 VND (約 500 円相当) 前後で購入可能なものばかりでした。一方で、ホーチミン市内の高島屋にある、高級スーパー【ANNAM GOURMET MARKET】においても外国産のワインが数多く取り扱われておりましたが、その価格帯は大衆向けのスーパーのおよそ 10 倍にあたる 1,000,000 VND (約 5,000 円相当) の銘柄ほとんどでした。

大衆スーパーBig C



高島屋のスーパー



筆者撮影

陳列された外国産ワイン



筆者撮影

【ベトナムのワイン市場について】

大衆向けのスーパーには、ベトナム庶民にも手が出る安価な価格帯の外国産ワインが多く流通していることから、日本産のワインにとって、ベトナムのワイン市場はたくさんの競合が存在するマーケットであると考えられます。

【ベトナムワインについて】

外国産のワインがお手頃な価格でたくさん流通していることに加え、国産のワインであるベトナムワインの存在も、日本産のワインにとって競合の一つであることは言うまでもありません。ベトナムワインの代表格ともいえるダラットワイン（ダラットはベトナム中部に位置しておりベトナムの軽井沢と呼ばれることもある。ベトナムでは珍しく比較的冷涼で降水量が少ない地域です）は、大衆向けのスーパーで 100,000VND（約 500 円相当）以下で販売されており、価格面で大きなアドバンテージを有しております。

Big C 店舗に陳列されたベトナムワイン（ダラットワイン）



筆者撮影

**【酒類卸売業者へのヒアリング】**

以前のコラムにも登場しました、ベトナム大手の酒類卸売業者の担当者へのヒアリングによれば、日本産のワインの取扱いは、日本酒の取扱数に比べ、少ないのが現状とのことです。同社によれば、新規の取扱いは歓迎しているが販売実績が出にくいこともあり、取扱条件は厳しい状況であるとのことでした。

親日で知られるベトナムでは日本食が庶民にも広く浸透し、これが追い風となって日本食文化の象徴的な産品の一つである日本酒の輸出が増えるなか、日本産のワインにおいては、チリをはじめとした外国産のワインやベトナムワインなどの「低価格路線の競合」が多数存在する市場となっているため、苦戦を強いられている状況が続いています。

日本産のワインがベトナムのワイン市場で一定のシェアを獲得するためには、安価なベトナムワイン、他の外国産のワインと一線を画すブランドイメージを構築し「価値訴求」を行う必要があるものと考えます。しかしながら現状のベトナムのワイン市場では、前提条件として「価格訴求力」が求められる市場であるため、当地での輸出拡大を目指す日本の醸造所にとっては、難しい市場のように感じております。

以上、プロネクサスベトナムが、ベトナムにおけるワイン事情についてご紹介致しました。今回は「日本人の知らないベトナム人の習慣」をお伝えしようと思います。

**【Disclaimer】**

- 本資料は、情報提供を目的として作成しております。
- 本資料に記載の情報は、会計・税務・法律上の観点からのアドバイスを含むものではありません。
- インターネット上を含む、一切の無断転載を禁止しております。
- 本資料の情報は、株式会社プロネクサスが作成元より提供を受けており、著作権は、原則として作成元に帰属します。いかなる目的でも、本資料の一部または全部を無断で使用すること、または、いかなる方法で複製、複製、引用、転載、翻訳、貸与などを行うことを禁止しております。
- 本資料に記載された情報は、作成元が信頼できると判断したものを根拠として作成を行っておりますが、その内容の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。弊社および作成元は、当該情報に起因して発生した損害について、その内容の如何に関わらず、一切の責任を負いません。